

# 『境界研究』執筆要領

1. 投稿は随時受け付ける。但し、投稿プランについては事前に相談されるのが望ましい。
2. 原稿には、論文、研究ノート、資料、書評論文、書評の区別を記す。
3. 原稿の量は、投稿規程で定められた枚数を厳守する。なお、次項で指定する書式の A4 用紙 1 頁が、400 字詰め原稿用紙 3 枚分に相当する。図表、地図などのスペースは適宜換算する。
4. 原稿はパソコンで作成する(図は手書きでもよい)。書式は横書きで 1 頁当たり 40 字×30 行とし、脚注には本文より 1.5 ポイント程度小さい文字を使う。A4 用紙にプリントアウトした原稿を郵便等で、電子ファイルを E メールで提出する。提出の際、使用ソフト (Microsoft Word が望ましい) 名と連絡先 (E メール、住所、電話、ファクス。海外滞在の予定がある場合はその間の連絡方法) を編集部に伝えること。なお、連絡先の情報はボーダースタディーズの事業に関わる案内等に使用させていただく場合があります。
5. 原稿の 1 枚目には、表題・執筆者氏名・所属機関・職名、および上記それぞれの英訳を記す。所属機関に正式の英語名称がある場合にはそれに従うこと。英語表題は邦題の「直訳」ではなく、英語として通用する題とする。2 枚目には、邦題のみを記し、1 行空けて本文を始める(執筆者名等は記さない)。
6. 節には、序論部分と結論部分を除き、1、2、3...と番号をふり、タイトルを付ける。序論と結論の名称(「はじめに」「序論」「おわりに」「結論」等)の選択は、執筆者の判断に任される。
7. 注は脚注形式とする。注番号は頁や節ごとにふるのではなく、通し番号とする。また、巻末に文献一覧を掲げて本文や注の中で文献データを略記する(「執筆者姓 出版年: 頁」のように)方法をとらず、初出の注に文献のフルデータを記す。その他、「スラブ研究センター和文出版物の引用注の様式」を遵守すること。
8. ラテン文字以外の文字を使用する言語を本文・注に表記する場合、ラテン文字に翻字する。ロシア語をラテン文字化する場合は、アメリカ議会図書館 (LC) 方式 (簡略版) に従うこと。それ以外の非ラテン文字言語を翻字する場合も、できる限り標準的な方式を用いるものとする。
9. 論文、研究ノートには、英語で要旨を付す。資料、書評論文に外国語要旨を添付するか否かは、執筆者の判断に任される。書評には外国語レジюмеは添付しない。
10. 論文の採否は、編集委員会の委嘱するレフェリー (査読者。原則として 2 名) の講評に基づいて編集委員会が決定する。ただし、明らかに問題が多いと編集委員会が判断した場合は、レフェリー審査

に回す以前の段階で却下することがある。研究ノート、資料、書評論 文の審査は、原則としてこの手続きに倣う。書評は、編集委員会の判断で採否を決定する ことができる。

11. 執筆者は、レフェリーによる講評および編集委員会の指示に基づいて原稿を修正・推敲し、最終稿とする。審査結果が条件付きであった場合は、修正稿の掲載可否を編集委員会が改めて判断する。

12. 執筆者は、初校段階で必要最小限の修正を行う。再校・三校は原則として編集部が行う。

13. 技術的な問題（注様式の統一など）に関しては、編集者の判断で原稿を修正する場合がある。

(参考) ロシア語翻字の LC 方式 (簡略版)

Аа→a	Рр→r
Бб→b	Сс→s
Вв→v	Тт→t
Гг→g	Уу→u
Дд→d	Фф→f
Ее→e	Хх→kh
Ёё→e	Цц→ts
Жж→zh	Чч→ch
Зз→z	Шш→sh
Ии→i	Щщ→shch
Йй→i	Ъъ→”
Кк→k	Ьы→y
Лл→l	Ьь→’
Мм→m	Ээ→e
Нн→n	Юю→iu
Оо→o	Яя→ia
Пп→p	

『境界研究』編集部

TEL: (011) 706-2388

FAX: (011) 706-4952

E-mail: [iwasi@slav.hokudai.ac.jp](mailto:iwasi@slav.hokudai.ac.jp)

(2014年3月更新)